

科目区分：外国語科目（中国語）

授業科目名	中国語				学期	曜日	校時
英語名	Chinese						
担当 教官名	葛城明子	単位数	1単位	必修 選択	必修	後期 後期 後期 火曜日 火曜日 木曜日	校時 校時 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>私たちが一般に「中国語」と呼んでいるのは、中国で全国的に通用する共通語のことである。中国は国土が広く、日本の約26倍もあり、方言が数多くある（一般に七大方言という）。例えば北と南では発音が大きく異なり、北の人と南の人がそれぞれ方言で話したら、全く通じ合わないことになる。そこで全国共通の言語が必要なのである。共通語は北方方言を基盤とし、北京語の発音を標準音としている。</p> <p>中国語では中国語に続き、発音と基本文型を中心に学ぶ。履修生は授業時だけでなく、各自付録のCDを使って、繰り返し発音の練習をしてほしい。</p>							
テキスト、教材等							
<p>テキスト：塚本慶一監修・劉穎著『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）</p> <p>辞書：武信彰編『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
火 - : L c ・ d 火 - : E - 木 - : T 四	各課の「トレーニング」「ヒアリング」は宿題としてやってくる。宿題をやってきたかどうかと定期試験の成績により、総合的に評価する。						
授業計画							
第1回	第5課	どこにありますか？（場所指示代名詞	動詞“在”	助動詞“要/想”			
第2回	第5課	トレーニング5	ヒアリング5				
第3回	第6課	何がありますか？（動詞“有”	“什担”+名詞	助数詞			
第4回	第6課	トレーニング6	ヒアリング6				
第5回	第7課	何時に行きますか？（時刻の言い方	時を表わす語	時間の長さを表す語			
第6回	第7課	トレーニング7	ヒアリング7				
第7回	第8課	ホテルのフロントで（完了を表わす“了”	選択疑問文				
第8回	第8課	トレーニング8	ヒアリング8				
第9回	第9課	タクシーに乗る（前置詞“从/到”	二つの目的語をもつ動詞“公”				
第10回	第9課	トレーニング9	ヒアリング9				
第11回	第10課	試着と支払い（助動詞“可以/能/会”	前置詞“在”	動詞の重ね用法			
第12回	第10課	トレーニング10	ヒアリング10				
第13回	第11課	苦情を訴える（前置詞“公”	“是”の省略	“去/来”+動詞			
第14回	第11課	トレーニング11	ヒアリング11				
第15回	試験						